

# 淀川河川公園 御幸橋野草地区（仮称） 公園整備計画（案）

平成 27 年 2 月

近畿地方整備局 淀川河川事務所



## ■御幸橋野草地区（仮称）の現況

年間利用者数と主な公園施設	
年間利用者	主な公園施設
未供用区域のためデータはない	未供用区域のため施設は存在しない

各視点からの現況			
ゾーニング計画の実現	魅力	快適性	つながりの改善
・対象区域の大部分が「水辺環境保全・再生ゾーン」になっている	・対岸に背割堤地区があり、桜並木を見渡すことができる	・木津川を眼下に臨む広大な空間である	・上下流方向には隣接する公園区域は存在しない



平成 27 年 1 月 撮影



## ■御幸橋野草地区（仮称）の整備方針（案）

淀川河川公園基本計画に基づき、地区特性を踏まえ、御幸橋野草地区（仮称）の整備方針を以下のように設定します。

### 淀川河川公園の整備方針（基本計画）

#### （1）ゾーニング計画を新たに定める

- 基本計画における地区区分計画を改め、淀川の自然環境が縦断及び横断方向に連続するようなゾーニング計画を新たに定める

#### （2）淀川の自然環境の保全・再生を図る

- 自然環境の連続性に留意しながら、自然環境のネットワーク及び淀川の特徴ある水辺の景観を保全・再生する
- 干潟や砂州、ヨシ原、ワンド、たまり等の水陸移行帯や淀川固有の生物が生息・生育できる場を保全・再生する

#### （3）淀川らしい利用ができるようにする

##### ①淀川の自然環境と利用との調和を図る

社会動向の変化、周辺の都市の状況、地域住民・利用者のニーズや意見を踏まえ、地区ごとの特性を考慮しながら淀川の自然環境と利用との調和を図る

##### ②淀川の自然環境の中で水に親しみ、憩う場をつくる

地区ごとの特性を活かし、水辺での水遊びや自然観察、原っぱでの遊びや運動、休憩、散歩など様々な形で淀川の自然環境の中で水に親しみ、憩う場をつくる

##### ③淀川全体をつなぐ・まちと淀川をつなぐ

散歩やジョギング、サイクリングなどが行えるよう、淀川全体をつなぐとともに、周辺地域と淀川にまつわる歴史・文化資源の散歩・周遊等のルート設定や、広域避難地としての役割など、まちと淀川をつなぐ取り組みを行う

##### ④淀川の水辺の景観を楽しめる場をつくる

水辺越しに見える都心部の眺望景観、北摂連山や天王山、男山、生駒山地などの山なみと一体的な景観との調和を図り、水辺の景観を楽しめる場をつくる

#### （4）淀川にまつわる歴史・文化資源を活かす

- 渡しや舟運、旧毛馬閘門・洗堰や川港跡、樋跡、三川合流部などの保存や展示、言い伝えを後世に伝えるなど、淀川にまつわる歴史・文化の資源を活かす

### 御幸橋野草地区（仮称）の特性

- 淀川河川公園の左岸側の最上流部に位置する
- かつては御幸橋付近に水泳場が存在し、地元や周辺地域の人々の利用が盛んだった
- 木津川を挟んで背割堤地区の対岸に位置し、背割堤の桜並木や天王山の雄大な景観が楽しめる
- 下流側では木津川、宇治川、桂川の三川の合流地点を間近に見ることができる

### 御幸橋野草地区（仮称）の整備方針

#### ◇木津川と対岸の景観を楽しめる川辺の散歩ルートを整備します

- 御幸橋野草地区（仮称）の上流側、中央、下流側をつなぐ、散歩や散歩、ジョギングなどができる園路や散歩ルートを整備し、八幡市駅から橋本駅まで周遊できるコースを整備します。

#### ◇三川が合流して淀川を形成している箇所を観察できるポイントを設置します

- 対岸の背割堤の桜並木を見渡したり、木津川、宇治川、桂川の三川が合流する箇所にビューポイントを整備します。
- 淀川上流部における河川改修の歴史をわかりやすく解説する案内板を設置し、歴史の学習に利用できるようにします。

#### ◇多目的広場や駐車場を整備します

- さまざまな利用ができる多目的広場を整備します。
- 多目的広場やビューポイントの付近に駐車場を整備します。

#### ◇木津川の親水・利用のための環境を整備します

- 木津川に親しんだり、川を利用した周遊のための船着場の整備を検討します。



■御幸橋野草地区（仮称）の整備・維持管理計画（案）

エリア区分	下流部	中流部	上流部
	三川合流部エリア	木津川親水エリア	多目的利用エリア
エリアの主な機能	雄大な三川の合流の眺望を楽しむエリア	木津川でのカヌーや舟運等の利用を支援するエリア	対岸の背割堤の桜並木を一望できる環境を活かし、ピクニックや散策に加え、大規模イベントにも対応するエリア

1. 園路、ウォーキングルートの整備  
(魅力の向上)

- ・上、中、下流側の多目的広場をつなぐ園路を整備する
- ・木津川に沿って散歩、散策、ジョギング等ができるルートを整備する
- ・既存の踏み分け道を活用する

4. 船着場の整備  
(魅力の向上)

- ・木津川親水エリアに、カヌーや舟運等の利用のための船着場の整備を検討する

3. 多目的広場の整備  
(魅力の向上)

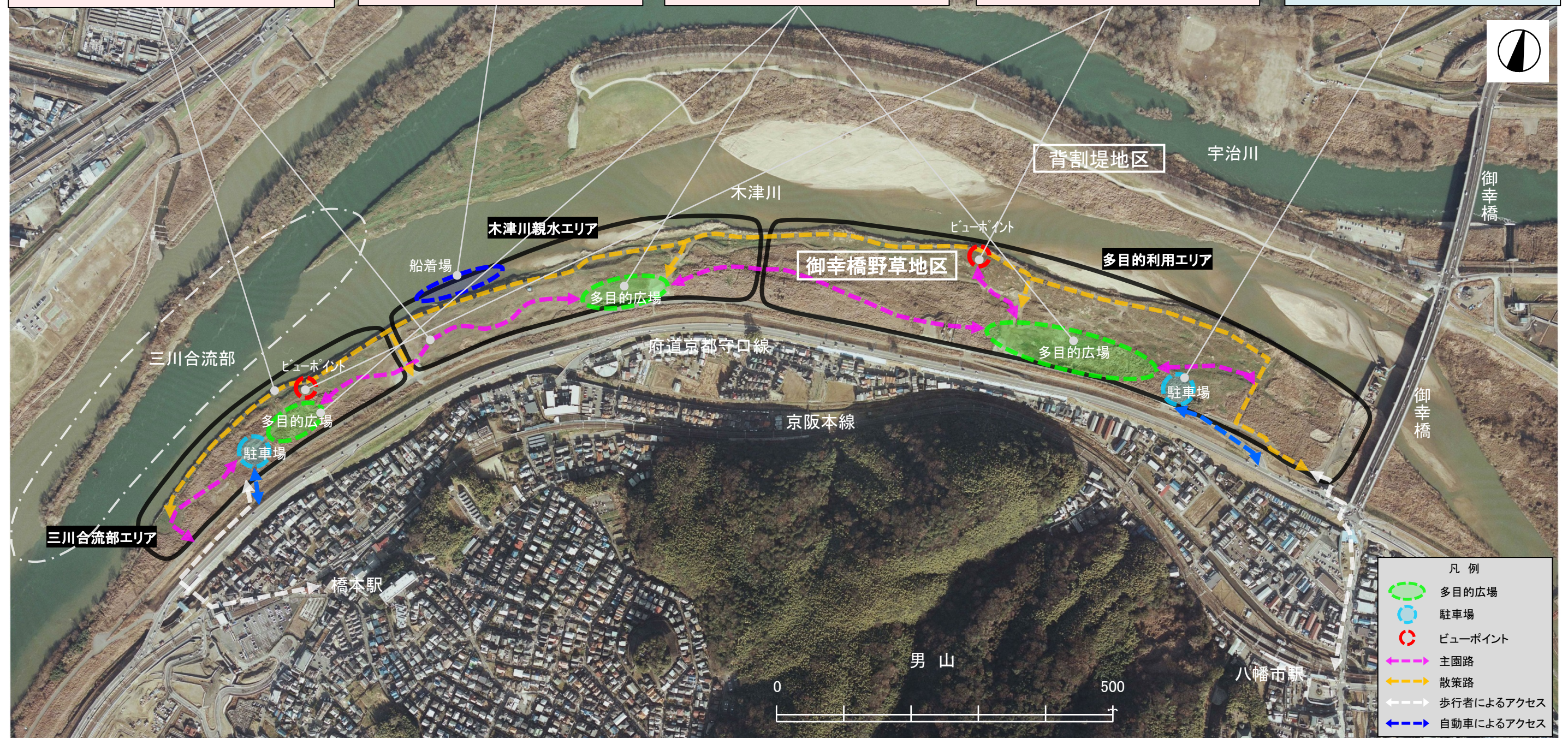
- ・八幡市街地から徒歩圏内と対岸の背割堤を見渡せる場所、及び三川合流部の3箇所に多目的広場を整備する

2. ビューポイントの整備  
(魅力の向上)

- ・対岸の背割堤や、三川合流部の景観を楽しめるようなビューポイントを設け、ベンチや案内板を整備する

5. 駐車場の整備  
(快適性の向上)

- ・地区の上流側と下流側の2箇所に駐車場を整備する



凡例

	多目的広場
	駐車場
	ビューポイント
	主園路
	散策路
	歩行者によるアクセス
	自動車によるアクセス

平成 27 年 1 月撮影



■御幸橋野草地区（仮称）整備・維持管理項目（案）

	現状及び課題	今後の整備・維持管理の方向性	短期的実施項目（注1）	整備対象エリア			中期的実施項目（注2）
				多目的 利用エ リア	木津川 親水エ リア	三川合 流部エ リア	
1	・御幸橋から下流側には、木津川を眺めながら歩けるルートは堤防道路しかないが、堤防道路に歩道は整備されていない	・八幡市駅から御幸橋南詰を通り、三川合流部付近を経て橋本駅に至る、ウォーキングに適した周遊ルートを確認する 【魅力の向上】	<b>■園路、ウォーキングルートの整備</b> ・上、中、下流側の多目的広場をつなぐ園路を整備する ・木津川に沿って散歩、散策、ジョギング等ができるルートを整備する ・既存の踏み分け道を活用する	○	○	○	なし
2	・淀川河川公園の中で唯一、三川合流部を間近に観察できる地区であり、現在は適切な場が整備されていない	・散策の途中で木津川と対岸の背割堤や天王山の景観、淀川三川が合流している景観をゆっくり楽しめる場を設ける 【魅力の向上】	<b>■ビューポイントの整備</b> ・対岸の背割堤や、三川合流部の景観を楽しめるようなビューポイントを設け、ベンチや案内板を整備する	○	—	○	なし
3	・八幡市の市街地から、かわきた自然運動公園までは距離が離れている	・八幡市街地から徒歩圏内に子供や親子で遊べる場所を確認する 【魅力の向上】	<b>■多目的広場の整備</b> ・八幡市街地から徒歩圏内と対岸の背割堤を見渡せる場所に、多目的広場を整備する	○	○	○	・草丈の管理方法について、利用者の意見を聞きながら最適な方法を検討する
4	・淀川河川公園上流域ではカヌー等による親水利用が見られるが、木津川の左岸側には、カヌーや舟運の利用に必要な船着場が存在しない	・木津川の左岸側に船着場を設け、木津川でのカヌーや舟運での利用を支援する 【魅力の向上】	<b>■船着場の整備</b> ・カヌーや舟運等の利用のための船着場の整備を検討する	—	○	—	なし
5	・現在は未開園区域のため駐車場がなく、利用が困難である	・対岸の背割堤地区や三川合流部の景観を楽しむ利用者のための駐車スペースを確認する 【快適性の向上】	<b>■駐車場の整備</b> ・地区の上流側と下流側の2箇所に駐車場を整備する	○	—	○	なし
6	・面積が広大なために植生管理の実施に費用が嵩む ・出水時に漂着したプラスチックゴミなどが多数見られる	・高木の成長により治水機能が低下しないように、高水敷の高木を管理する 【快適性の向上】	<b>■清掃活動など公園管理への市民参加を検討する</b>	（地区全体）			・高木の生育状況をモニタリングし、定期的な伐木計画を検討する

注1) 短期的実施項目には、およそ5年程度を目途として、整備・再整備、維持管理の実施が見込まれる内容について記載しています。  
 注2) 中期的実施項目には、各ゾーンの将来像の達成に向けて、事業実施の方向性の確定または事業予算が確保でき次第取り組むことが望ましい内容について記載しています。  
 注3) 今後の地域協議会での議論、治水・環境の観点からの技術的検討、予算状況等により変更となることがあります。